

分科会・委員会の審査概要

予算決算委員会から議案の審査を分担した各分科会と部門別に行われた各委員会の審査の概要は以下のとおりです。

総務

●仮設住宅等入居者の住まい再建支援

入居の期間について、期限ありきで進めるのではなく、丁寧な対応に努めるとともに、期限内の住まい再建が困難な入居者への仮設住宅等の供与期間の延長について、国に対し、積極的に働きかけてもらいたい。



●生活再建困難者支援事業

在宅被災者に対しての、地域支え合いセンターによる見守り支援が行き届かない現状から、支援を要する対象者が潜在化していると思われるため、本事業の周知・広報に努めてもらいたい。

教育市民

●児童育成クラブ

地域コミュニティセンターや狭い施設で運営される児童育成クラブは、より良い環境で運営ができるよう学校や保護者と協議してもらいたい。

●LGBT(性的少数者)に関する研修

管理職だけでなく窓口で市民対応を行う臨時職員等にも性的少数者や人権に関する研修の機会を上げ、より良い接遇に努めてもらいたい。



厚生

●ペアレント・トレーニング事業

子育てや子どもの発達障がいに関心する保護者の支援を目的とするペアレント・トレーニング事業については、本事業の周知を徹底するとともに、今後の事業拡充について検討してもらいたい。



●生活保護ケースワーカー

本市の生活保護ケースワーカーの充足率は、他の政令指定都市と比較して低く、職員の負担増となっているので、正職員によるケースワーカーの増員を人事当局へ強く要望してもらいたい。

環境水道

●クールチョイスシティくまもと^(※2)の啓発

クールチョイスに関する市民の認知度が依然低いと感じることから、家庭の照明器具のLED化等、身近な地球温暖化対策の取り組み事例の広報を強化し、啓発に努めてもらいたい。

●資源物持ち去り対策

警察との更なる連携等による取り締まり強化を図る等、持ち去り根絶に向け努力を求めたい。



経済

●企業立地の促進

誘致企業へ多額の補助金を交付していることから、当該事業の費用対効果及び本市における経済波及効果について十分な検証を行ってほしい。



●主力農産物なすの生産

現在新品種への転換が進められており、今後は更に関係団体との連携を強化し、積極的な栽培技術指導を行う等、最大限の支援を行ってほしい。

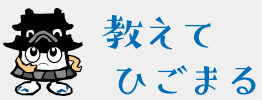
都市整備

●民有施設ブロック塀調査等経費

危険ブロック塀の改修等については、個人での対応が難しいケースもあることから、補助制度を設ける等、危険箇所の早期改善に向けた取り組みを求めたい。

●自転車走行空間整備事業

自転車と歩行者、自転車と自動車との効果的な分離手法やピクトグラム(道路標識)の設置による効果の検証を行い、快適な自転車利用環境整備を求めたい。



教えて
ひごまる

クールチョイス シティくまもと(※2) …温室効果ガス排出削減目標(2030年度までに26%削減)を踏まえた地球温暖化対策のための国民運動「クールチョイス(賢い選択)」の普及を、首長が先頭に立ち、地域の団体と連携して行う環境省補助事業の熊本市版。

締めくくり質疑 (平成30年9月25日)

平成29年度熊本市各会計決算

- 生活保護に関するケースワーク
 - ・本市のケースワーカー充足率が低下している現状や増加、複雑化するケースに対応し適正な制度運営ができるよう、正規職員による充足率100%に向けた目標年次を定めて早期に実現してもらいたい。
 - ・ケースワーカーのスキル向上に向けた研修の充実を求めたい。
- 職員のコンプライアンス
 - ・職員研修に十分な予算を確保し、不祥事の再発防止に向けた取り組みを求めたい。

平成29年度熊本市交通事業会計利益の処分及び決算の認定

- 市電の安全安心な運行のための職員の確保及び育成
 - ・任期付職員のうち経験や技術が必要となる監督業務を担っている者については、任期終了後の継続雇用を検討してもらいたい。
 - ・嘱託運転士を対象とした職員採用試験を行う等、経験やスキルを有する人材を正規職員として雇用する体制の構築を行うとともに、毎年一定の正規職員の採用を検討してもらいたい。
 - ・車両を使用した実技研修や営業運転中の実務検定等、運転士等乗務員のスキルアップに繋がる研修の機会を増やすとともに更なる内容の充実を求めたい。
- 車両及び電停のバリアフリー化が促進されるよう、一般会計からの支援充実を検討するとともに、目標年を定めた計画的な整備を求めたい。